

(1) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期	
1	伊勢原市総合計画 審議会	新規	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 北川 博美 教授	市長の諮問に応じ、伊勢原市総合計画の策定に関し必要な調査及び審議を行うため。	期 日	①11月24日 ②1月20日～26日
						場 所	① 市役所 全員協議会室 ② 書面開催
						内 容	委員の委嘱式、諮問、次期総合計画策定方針の説明等
						参加者数	20名
						成果及び課題	専門的な見地から意見をいただいた。
2	伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画 施策評価委員会	継続	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 柴田 明彦 教授	市の行政評価に外部の視点を取り入れることにより、評価の客観性および透明性を確保し、効果的かつ効率的な行政運営の推進を図る。	期 日	①4月23日～27日 ②4月30日
						場 所	① 書面開催 ② 市役所 市長公室
						内 容	① 外部評価報告書(案)の内容確認 ② 外部評価報告書の手交
						参加者数	①10名 ②2名
						成果及び課題	専門的な見地から意見をいただいた。
3	伊勢原市個人情報 保護審査会	継続	総務部 文書法制課	情報マネジメント学部 勝間 豊 教授	個人情報の開示請求の諾否決定に対する審査請求に関する市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日	12月1日
						場 所	市役所 議会第3委員会室
						内 容	・委嘱状委嘱式 ・第1回会議
						参加者数	5人
						成果及び課題	専門的な見地から意見をいただいた。
4	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 古賀 暁彦 教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日	10月25日、2月19日
						場 所	書面開催
						内 容	・第1号議案:平成大山講プロジェクト推進協議会の年度計画について ・第2号議案:平成大山講プロジェクト推進協議会基本計画書一部改訂について ・第3号議案:観光の核づくりに係わる総合計画の時点修正及び令和3年度(修正)、令和4年度計画について ・その他
						参加者数	21名
						成果及び課題	新たな核づくり事業に係る事業計画の県への提出
5	伊勢原市日本遺産 協議会委員	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部	文化庁より認定を受けた「日本遺産 大山詣り」の周知・啓発を進め、観光誘客及び地域振興を目指す。	期 日	3月(予定)
						場 所	書面開催(予定)
						内 容	周知・啓発活動(予定)
						参加者数	委員13名(予定)
						成果及び課題	協議会の運営(予定)

6	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査及び審議を行う。	期 日	3月頃(予定)
						場 所	書面開催(予定)
						内 容	第5期伊勢原市地域福祉計画策定について(予定)
						参加者数	委員17名(予定)
						成果及び課題	専門的な見地から意見をいただく。(予定)
7	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	経営学部 木村 剛 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日	①11月9日 ②2月15日
						場 所	①市役所 ②書面開催
						内 容	① ・伊勢原都市計画生産緑地地区の変更について ・特定生産緑地の指定について ・緑の基本計画改定の考え方について ② ・都市計画下水道の変更について ・緑の基本計画改定の骨子案について
						参加者数	①13名 ②16名
						成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申を頂いている。

(2) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期	
1	宝城坊宝殿特別展覧会にかかる動画制作について	新規 (単年度)	教育部 教育総務課 (歴史文化担当)	情報マネジメント学部 古賀 暁彦 教授 古賀ゼミ学生	宝城坊宝殿特別展覧会を周知するため、宝城坊を中心として日向地区への誘客を目的とした動画を制作・配信する。	期 日	11月～12月
						場 所	日向薬師 宝城坊ほか
						内 容	日向地区を紹介する動画を制作する。
						参加者数	7名予定
						成果及び課題	展覧会事業全体として事業効果測定を実施した。
	伊勢原吹奏楽フェスティバル	継続	市民生活部 市民文化会館	産業能率大学吹奏楽部 SANNOWIND・オーケストラ	芸術・文化の普及・振興	期 日	新型コロナウイルス感染症防止の為、未実施。
						場 所	
						内 容	
						参加者数	
						成果及び課題	

(3) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期	
1	大山阿夫利神社 「石鹸プロジェクト」	新規	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 友寄 隆哉 教授 友寄ゼミ学生	石鹸作りを通してSDG'sの理念を 理解し、大山阿夫利神社にて販 売活動、ワークショップの企画運 営を行う。	期 日	8月11日
						場 所	大山阿夫利神社
						内 容	手作りキットの販売権を持つ(社)green4 と提携し、大山阿夫利神社オリジナル商 品「神塩石鹸」を販売する。
						参加者数	12名
						成果及び課題	大山夏山開きにあわせPBL活動として 友寄ゼミの学生10名が石鹸キットの販 売補助を行い、大学の知名度アップとと もに、大山阿夫利神社の集客向上を 図った。
2	伊勢原駅周辺エリ アマネジメントの取 り組み	継続	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 橋本 諭准教授 橋本ゼミ生	伊勢原駅を中心とした個性と魅力 ある地域まちづくりの推進に向け て、多様な主体が連携したエリア マネジメントを実施する。	期 日	7月4日、7月11日
						場 所	伊勢原市役所 会議室
						内 容	伊勢原市のまちづくりへの方向性につ いて、市民の意見やアイデアを伺う市 民ワークショップを開催する。
						参加者数	約30名
						成果及び課題	次期総合計画の策定に向け、市民意見 を把握等を目的とする市民ワークショ ップを開催した。
3	シティプロモーション 動画の作成	継続	企画部 広報戦略課	情報マネジメント学部 柴田 匡啓 教授 柴田ゼミ学生	学生の自由な視点と発想により、 伊勢原の新たな魅力を引き出す プロモーション動画を制作・配信 する。	期 日	10月27日、11月1日以降適宜
						場 所	大山周辺
						内 容	シティプロモーション動画制作の撮影
						参加者数	延べ人数 20名
						成果及び課題	伊勢原の魅力を盛り込んだ動画を制作 し、ユーチューブ伊勢原市公式チャ ネル、伊勢原市公式ホームページ、SNS 等で配信した。
4	伊勢原市商業振興 事業プランの推進	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	プランの推進主体である「商業の まちづくり協議会」と学生が連携 し、プランの施策に取り組む。	期 日	随時
						場 所	伊勢原市内等
						内 容	本プラン事業実施に係る協力及び情報 発信
						参加者数	18名
						成果及び課題	情報発信については、既存の地域資源 を大学生目線で紹介することにより、地 域活性化を図った。 事業実施に係る協力については、3月 頃を予定。
	伊勢原観光道灌ま つり クリーンキャンパ ーン	継続	経済環境部 商工観光課	湘南学生サービスセン ター 情報マネジメント学部 学生	伊勢原観光道灌まつりを通じて、 健全な地域社会の発展及び人材 の育成を目的として、協働活動に よる協力関係を推進する。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止の為、未 実施。
						場 所	
						内 容	
						参加者数	
						成果及び課題	

伊勢原観光道灌まつりへの出店	継続	経済環境部 商工観光課	情報マネジメント学部 古賀 暁彦 教授 古賀ゼミ学生	伊勢原観光道灌まつりへの参加を通じ、市と大学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止の為、未実施。
					場 所	
					内 容	
					参加者数	
					成果及び課題	
愛甲石田駅南口ロータリーふれあい祭	継続	都市部 都市政策課	湘南学生サービスセンター 情報マネジメント学部 学生	イベントの円滑な進行と地域住民とのふれあいの場を創出する。	期 日	新型コロナウイルス感染症防止の為、未実施。
					場 所	
					内 容	
					参加者数	
					成果及び課題	

#### (4) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期	
災害時における施設使用等に関する協定書	継続	企画部 危機管理課	湘南管理課	湘南管理課	災害時の施設使用に係る要請窓口及び担当者の確認	期 日	新型コロナウイルス感染症防止の為、未実施。
						場 所	
						内 容	
						参加者数	
						成果及び課題	

#### (5) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	時期	
1	広報いせはらの原稿執筆	新規	企画部 広報戦略課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授	ポストコロナにおける社会変化に関する記事を市民等へ発信する。	期 日	12月1日
						場 所	広報いせはら12月1日号
						内 容	ポストコロナにおける社会変化に関する記事を掲載する。
						参加者数	—
						成果及び課題	広報いせはら12月1日号に橋本先生執筆のメッセージを掲載し、市民等へ発信した。
2	「情報マネジメント学部の学び方」における市長講演	新規	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授	学生が伊勢原市の魅力を理解し、伊勢原市で学生生活を送るうえでの自覚を持つよう、必修科目として市長講演を実施する。	期 日	4月12日
						場 所	収録：市役所 政策会議室 講義：産業能率大学 湘南キャンパス (オンライン開催)
						内 容	新入学生必修科目「情報マネジメント学部の学び方」において配信予定の、新入学生に向けた市長のお祝いメッセージ動画を収録する。
						参加者数	情報マネジメント学部新入学生約400名
						成果及び課題	「伊勢原市の今と未来のまちづくり」をテーマとし、新入学生に対する市長講演を実施し、市に対する理解促進を図った。

3	次期総合計画に向けた市民ワークショップ	新規	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 橋本 諭 准教授 橋本ゼミ生	次期総合計画の策定にあたり、市民との協働による計画づくりを進めるため実施する。	期 日	①7月4日 ②7月11日
						場 所	①市役所 2C会議室 ②市民文化会館展示ホール
						内 容	8つのテーマについてワークショップを実施し、市の現状の課題と10年後の理想像を抽出する。
						参加者数	2日間延べ59人
						成果及び課題	市の目指すまちづくりに向けたワークショップを開催し、意見をまとめた。
4	瑞木祭開催に係る市長メッセージの収録	継続	企画部 経営企画課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授	市と本学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	10月25日(収録) 11月6日、11月7日(配信)
						場 所	産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容	瑞木祭において、学生や市民等に対し市の周知・啓発を図る。
						参加者数	瑞木祭全体アクセス数:7,014件
成果及び課題	オンライン瑞木祭において、市長メッセージを公開し、周知・啓発を図った。						
5	瑞木祭への参画	継続	企画部 広報戦略課	瑞木祭実行委員会 湘南学生サービスセンター	市と本学との交流を深めるとともに、協働活動による協力関係を推進する。	期 日	11月6日、11月7日
						場 所	産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容	瑞木祭において、学生や市民等に対し市の周知・啓発を図る。
						参加者数	瑞木祭全体アクセス数:7,014件
成果及び課題	オンライン瑞木祭において、市作成動画「タイムスリップ! 大山詣り(秋版)」を公開し、周知・啓発を図った。						
6	SANNOCUP 2021 開会式における市長列席	継続	企画部 秘書課 保健福祉部 スポーツ課	情報マネジメント学部 中川 直樹 教授 川野 邊誠 教授	SANNOCUP 2021 開会式へ出席する。	期 日	10月16日
						場 所	産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容	市長挨拶
						参加者数	小学生約100名
成果及び課題	市長挨拶を実施し、参加選手等に対し、祝辞を述べた。						
7	情報マネジメント学部「キャリア支援特講Ⅰ」における講演	継続	総務部 職員課	情報マネジメント学部 小柴 達美 教授	行政体への就職(事務職)を検討をしている学生に対し、採用試験や求める人物像等について、伊勢原市職員課員講演を実施する。	期 日	7月5日
						場 所	産業能率大学 湘南キャンパス
						内 容	「伊勢原市職員の採用試験等に関する説明」をテーマとして、学生に対して30分の講演を実施する。
						参加者数	情報マネジメント学部学生5名
成果及び課題	行政体への就職(事務職)を検討をしている学生に対し、採用試験や求める人物像等について理解することが出来た。						
8	就業体験学生(インターンシップⅡ)実習事業	継続	保健福祉部 障がい福祉課	インターンシップ事務局(湘南教務課)	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日	8月2日～6日
						場 所	市役所
						内 容	市の専門業務に携わり、より深い就業体験をする。
						参加者数	4名
成果及び課題	市役所内で実習することで、より実践的な業務を体験・経験することが出来た。						

9	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	継続	総務部 職員課	インターンシップ事務局(湘南教務課)	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期日	8月2日～5日
						場所	市役所
						内容	各所属における行政体験実習
						参加者数	4人
						成果及び課題	地域の大学と連携した人的資源の活用が図られる。
10	放課後子ども教室	継続	子ども部 青少年課	情報マネジメント学部	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期日	5月26日～3月末日
						場所	伊勢原小学校、石田小学校、竹園小学校、成瀬小学校、比々多小学校、大山小学校、桜台小学校
						内容	工作教室、科学実験、スポーツ体験、マジックショー、自主学习など
						参加者数	伊勢原小学校:71人、石田小学校:122人、竹園小学校:63人、成瀬小学校:148人、比々多小学校:50人、大山小学校:24人、桜台小学校:99人
						成果及び課題	放課後子ども教室の運営を支援するボランティア募集を計画していたが、コロナ禍の影響により、従事する学生に対して募集を依頼するまでには至っていない。
11	「ソーシャルビジネス講座」における講義	継続	教育部 教育総務課 (歴史文化担当)	情報マネジメント学部	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期日	9月28日
						場所	オンライン開催
						内容	市の歴史・文化について、講義を行う。
						参加者数	
						成果及び課題	学生に対して講義を実施し、市の歴史・文化に関する理解促進を図った。
	女性職員研修	継続	企画部 経営企画課 総務部 職員課	情報マネジメント学部 鬼木 和子 学部長 荒木 淳子 教授	女性職員が職業生活において能力を十分に発揮するために必要な知識等について近隣市町の職員とともに語り合うことで、様々な場での発信力を持ち、自らも取り組めるような人材を育成する。	期日	新型コロナウイルス感染症防止の為、未実施。
						場所	
						内容	
						参加者数	
						成果及び課題	